

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

認知症ケアチーム・病棟看護師に対する AI 支援システムの開発

研究分担者 上村 恵一 北海道医療センター 精神科 医長
谷向 仁 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 准教授
井上 真一郎 岡山大学 大学病院 助教
榎戸 正則 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 医員

研究要旨 AI システム支援を導入した新たな認知症教育プログラムの開発と試行に有効な要素を抽出する目的にて、我々の開発した一般病棟での多職種による認知症対応教育研修プログラムの効果を検証した。2 医療施設において研修プログラムを実施し、研修前と研修直後・3 か月後での、認知症およびケアに関する知識の変化、認知症ケアの自信の変化について検討した。知識の変化では、研修前と比較して、直後・3 か月後ともに研修前より有意な得点の上昇を認めた。自信の変化については 3 か月後において、有意な得点の上昇を認めた。本プログラムの看護師への教育効果は研修直後だけでなく、一定期間持続することが示唆されたことから、今後研修施設での検証を増やし、プログラム実装における課題を抽出し、その結果をもとに、AI システム支援を利用した新たな教育プログラムの開発に役立てる。

A. 研究目的

一般病棟での多職種による認知症対応教育プログラムの効果検証を行い、その結果を基に、AI システム支援を導入した、新たな教育プログラムの開発と試行を行う。

B. 研究方法

すでに開発済みである多職種教育プログラムの効果検証を 4・6 施設で行う。同時に教育後の実装過程を質的に評価し、運用上の課題を抽出し、AI 支援システムの課題設計に反映させる。

本年度は、まず 2 施設（北海道医療センター、筑波メディカルセンター）において、これまで開発したプログラムを実施した結果について、研修前と研修直後・3 か月後での、

認知症及びケアの知識の変化、認知症ケアの自信の変化について検討し、その結果を踏まえ今後のプログラム効果検証の評価項目を決める参考に用いることとした。

（倫理面への配慮）

医療者を対象とした教育プログラム開発であり、国立がん研究センター東病院、お

よび研修を行った 2 施設においてそれぞれ倫理委員会の承認を得て実施した。

C. 研究結果

研修前と直後・3 か月の知識の変化では、研修前と比較して、直後 ($p<0.001$)・3 か月後 ($p=0.003$) とともに研修前より有意な得点の上昇（知識が深まった）を認めた。自信の変化については研修前と 3 か月後の変化において、有意な上昇を認めた ($p<0.001$)。本プログラムの看護師への教育効果が研修直後だけでなく、少なくとも一定期間持続することが認められた。

D. 考察

我々が開発した認知症研修プログラムは少なくとも、看護師を対象とした研修会において、知識、自信の点で効果が得られることが示されたが、今回の検討では研修 3 か月後までの評価しか行っていないため、さらに長期的な効果が持続するのかの検討が必要であり、定期的な研修会などの継続が必要な可能性もある。また、ケアの自信の上昇は、臨床現場での認知症のケアの質を高め、プラスの効果

をもたらす可能性が高い一方で、身体拘束や向精神薬使用の減少、せん妄や転倒頻度の減少などの臨床的アウトカムの改善につながっているかなどの評価が今回は行えていない。これらの評価も含めて検討していく必要がある。今後、研修会開催施設数をさらに増やし効果検証を行っていくとともに、研修後に、有効と考えるプログラムの項目を詳細に検討プログラムの実装過程を質的に評価し、運用上の課題を抽出し、AI 支援システムの課題設計に役立てる。

E. 結論

我々の開発した認知症対応教育プログラムは、看護師への知識と自信の向上につながっており、この研修の実装過程の課題を抽出し、対策を講じることは臨床現場でのアウトカムの改善に有用と考えられる。

F. 健康危険情報

特記すべきことなし。

G. 研究発表

論文発表

1. 谷向 仁. 精神疾患の基礎知識 認知症. 緩和ケア 29 (4) :339-343, 2019.
2. 谷向 仁. 向精神薬使用の適切な判断 認知症に対する抗精神病薬使用の適切な判断. 月刊薬事 61 (3) 61-66, 2019.
3. 谷向 仁. 認知症の怒りに対処する. 精神医学 61 (11) 1297-1304, 2019.
4. 上村恵一. 身体治療場面での認知症治療薬使用上の注意点. 月刊薬事 61(3), 477-480, 2019
5. 上村恵一. 症状別緩和ケアスキル Beyond PEACE せん妄. Cancer Board Square 5(1), 96-101, 2019.

学会発表

1. 谷向 仁. 認知症を併存するがん患者への対応. 第 30 回日本医学会総会, 2019.4.29.
2. 谷向 仁. 一般病院における認知症併存者への対応の課題 ~ 透析医療での課題を含めて. 和歌山腎不全看護研究会, 2019.5.12.
3. 檀戸 正則、谷向 仁、井上真一郎、上

村恵一、植田 真司、田中 久美、木野美和子、東谷敬介、小川朝生. 一般病院における看護師を対象とした認知症対応の教育プログラムの効果検証. 第 32 回日本総合病院精神医学会総会. 2019.11.15.

4. 上村恵一. がんに罹患した精神疾患患者の治療選択について. 第 32 回日本総合病院精神医学会総会. 2019.11.15
5. 菊地 未紗子、上村恵一. 精神疾患のある患者に対する院内連携 ~ 精神科医の立場から ~, 第 22 回日本腎不全看護学会学術集会シンポジウム. 2019.11.10.

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
特記すべきことなし